

1 題材名 欠点も見方を変えればよいところ ～リフレーミング～

2 題材の目標

- (1) 自分や友達の見方を変えて、よい見方にとらえ、あたたかい言葉をかけることができる。 (知識及び技能)
- (2) リフレーミングを通して、自他のよさに気付くことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 見方を変えることで物事の受け止め方が変わり、自分や友達のよさに気付こうとすることができる。 (学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分や友達の見方を変えて、よい見方に捉えることができている。 【6- (4)】	・リフレーミングを通して、自他のよさに気付いている。 【6- (5)】	・見方を変えることで物事の受け止め方が変わり、自分や友達のよさに気付こうとしている。【6- (1)】【3- (1)】

4 題材について

(1) 教材観

本単元では、他者との関わりが苦手な生徒が、円滑なコミュニケーションを図れるようリフレーミングの技能を体験することで、自他のよさに気付くことをねらいとしている。楽しくリラックスした雰囲気の中で活動することで、情緒の安定を図り、所属感を高めながら、意思表示の仕方や他者との良好なコミュニケーションの仕方、場に応じたやり取りをできるようにする。リフレーミングを通して生徒が主体的に活動することで、コミュニケーションの基礎的能力や経験を培うことができる。

(2) 生徒観

Aは、自分自身のことや交流学級での当番活動などを確実にやり、友達とも協力して生活することができる。普段の学校生活において、自分の意思を他者に伝えることはできるが、多様な人との関わりや経験が少ないため、多面的な見方が苦手である。そのため、他者との距離感の持ち方や相手の気持ちを想像することが苦手で、友達との誤解が生じやすい。個別に話を聞く機会を設け、生徒に寄り添った対応を継続してきた。Bは、友達と会話を楽しんだり、一緒に行動したりすることができる。一方、相手の気持ちを読み取ることが苦手で、言葉が乱暴なことがある。また、集中力や持続時間が短く、初めての場面や人が多く集まる場面は苦手である。気に入らないことや出来そうもないことに対して簡単にあきらめたり、いらだいたりしやすく、自己肯定感が低い傾向が見られる。本人が安心できる環境と声かけや視覚的な支援を継続している。

(3) 指導観

指導に当たっては、リフレーミングを使い、自分が欠点だと思っていることを見方を変えて、よいところに捉えていく経験を通して、相手のよさや自分自身のよさに気付かせたい。そして、ありのままの等身大の自分を受け入れることで、自分は大切な存在であることを実感し、自己肯定感を高め、明るい学校生活が送れるように支援していく。

5 生徒の実態と個別目標

	単元における実態	単元における目標
A	自分の意思を表出したり、友達とコミュニケーションを取りながら活動したりすることが苦手である。他者との距離感の持ち方や相手の気持ちを想像することが得意ではなく、友達との関わりの中でも誤解が生じやすい。	◎自分や友達の見方を変えて、よい見方に捉えることができる。 (知識・技能)【6- (4)】 ◎リフレーミングを通して、自他のよさに気付くことができる。 (思考・判断・表現)【6- (5)】 ◎見方を変えることで物事の受け止め方が変わり、自分や友達のよさに気付くことができる。(主体的に学習に取り組む態度)【6- (1)】【3- (1)】
B	自分の気持ちや考えを言葉で説明することが苦手で、教師の言葉かけが必要である。また、文字が乱雑で文章で表現することや、相手の気持ちを読み取ることが苦手で、言葉が乱暴なことがあり、友達と誤解が生じやすい。	◎自分や友達の見方を変えて、よい見方に捉えることができる。 (知識・技能)【6- (4)】 ◎リフレーミングを通して、自他のよさに気付くことができる。 (思考・判断・表現)【6- (5)】 ◎見方を変えることで物事の受け止め方が変わり、自分や友達のよさに気付くことができる。(主体的に学習に取り組む態度)【6- (1)】【3- (1)】

6 単元の指導計画（1時間扱い）

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学 習 内 容・活 動	知 技	思	態	評価及び評価方法等	
1	1 本 時	<p>目標：見方を変えることで物事の受け止め方が変わり、自分や友達によさに気付くことができる。</p> <p>1 はじめの挨拶をする。 心ほぐしのミニゲームをする。</p> <p>2 本時の学習内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題</p> <p>自分が欠点だと思っていることも見方を変えるとよいところになることを知ろう。</p> </div> <p>・先生を例に欠点をよいことに変えてみる 「がんこ」→「意志が強い」 「忘れっぽい」→「切り替えが早い」 「おおざっぱ」→「おおらか」</p> <p>3 活動の流れ（やり方・内容）を知る。 ・約束を知る。 ・前向きで肯定的なことだけを書く。</p> <p>4 活動する。 (1) ワークシートに自分の欠点と書くこと を書く。 (2) 欠点を書いたワークシートを交換し、他のメンバーが見方を変えてよいところになるような言葉を書く。 (3) 最後に自分のワークシートが戻ったら、書かれた言葉を読む。</p> <p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ</p> <p>自分が欠点だと思っていることも、見方を変えるとよいところになることが分かった。</p> </div> <p>・自分があたたかい言葉もらって、また、相手にあたたかい言葉を贈って感じたことや気付いたことを発表する。</p> <p>6 終わりの挨拶をする。</p>				<p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p>	<p>評価及び評価方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の顔を見て、よい姿勢ではっきり挨拶できる。 ミニゲームを通してモチベーションを高め、自然に自己開示できる雰囲気づくりをする。 人の話をよく聞いて、言葉だけではなく、表情や態度にも注目できるように表情カードを用意して視覚的な支援をする。 本時の学習内容を提示して確かめることで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ものの見方は、視点が変わると違うことを押さえる。 人が話している時は静かにし、人の意見を邪魔したり、否定的な批判したりしないことが大切なポイントであることを伝える。 わからないことは、その場で尋ねるように言葉をかける。 考えるヒントを例示し、見方を変えた言葉をイメージしやすくする。 <p>知：自分や友達の見方を変えて、よい見方にとらえることができている。</p> <p>・ワークシートの内容の答えは、短くてもいいので気軽に言葉にしてよいことを伝え、安心して取り組めるように励ます。</p> <p>思：リフレーミングを通して、自他のよさに気付いている。</p> <p>・ありのままの等身大の自分を受け入れることで、自分は大切な存在であることを実感できるようにする。</p> <p>・あたたかい言葉によって自分や友達への見方が変わった発言があれば、称賛する。</p> <p>態：見方を変えることで物事の受け止め方が変わり、自分や友達によさに気付くようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート、行動観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のがんばりを称賛し、次時の活動につなげる。

7 C評価になった生徒への支援

リフレーミングの言葉がなかなか出てこない場合には、反対の言葉を示したヒントカードを準備しておき、イメージしやすく活動に取り組みやすいように支援する。